混迷体験　たくましく巣立つ

卒業式 2年ぶり挙行

本学は令和2年度卒業式を3月20日、パシフィコ横浜国立大ホールで挙行した。今年は新型コロナウイルス感染防止のため卒業生と教職員のみの参列とし、午前・午後の2回に分けて実施。午前の部では、大学院全研究科と政経、体育、経営の3学部、午後の部では理工、法、文、21世紀アジアの4学部の卒業生が式典に臨んだ＝写真。

令和2年度の学位取得者は、学部2771人、大学院修士課程100人、博士課程5人。うち留学生は127人だった。

令和2年度

2回に分けて

式では、国歌斉唱に続き学位記授与が行われた。午前の部では、大学院博士の学位が政治学研究科の沖野大輔さんはじめ3人に、修士の学位が代表して経営学研究科の謝思羽さんに、佐藤圭一学長からそれぞれ授与された。学士の学位は、経営学部の鈴木桃香さん（午前の部）と文学部の松田康太郎さん（午後の部）が代表して受けた。

その後、優秀修士論文賞授与（午前の部）、優等賞授与、柴田徳次郎賞授与と進み、佐藤学長が式辞を、大澤英雄理事長が祝辞を述べた（**要旨別掲**）。

在学生代表送辞は、午前の部で佐藤晴香さん（政経3年）、午後の部で阿部萌菜さん（21ア3年）が、卒業生代表答辞は午前の部で福永雅子さん（体育学部）、午後の部で勝俣佳奈さん（理工学部）が読み上げた。最後に列席者全員で国士舘舘歌を斉唱し、閉会した。

新型コロナウイルス感染防止対策として会場では受付を行わず、座席は1席空けて着席。座席番号を登録させて列席者の把握に努めた。また、父母や欠席した卒業生に向け式当日の収録映像をホームページに限定公開した。

マスク姿でカメラに笑顔を向ける卒業生ら

コロナ禍の経験生かして

式辞
佐藤圭一学長

春到来を感じるこの佳き日に、学位を取得された皆さんが一堂に会し、卒業式を挙行できたことは万感胸に迫る思いです。皆さんのご卒業を心よりお祝いいたします。

学生生活最後の年となった令和2年度は歴史に刻まれる猖獗（しょうけつ）の年となりました。長期間にわたって不自由で見通しのつかない中、苦難と忍耐を極める学生生活を強いられました。それでもなお、混迷を極める状況下で結果を出した皆さんは一層強く、たくましくなりました。この経験をこの先の人生に大いに生かしてください。

皆さんが入学した平成29年には、記念すべき「国士舘創立100周年」を迎えました。澄み切った秋晴れの空に色とりどりの風船を解き放った感動は今でも脳裏に焼き付いています。期間中の各種行事などを通じて、国士舘の成り立ちや歴史、本学の特色ある「建学の精神」と「教育理念」を存分に知る機会となったはずです。

東日本大震災から10年を経て、いまなお相次ぐ自然災害にあっても、秩序を重んじ、他者のために行動する日本人の精神文化は、世界中から賞賛される美徳であり、人類に共通した理念型といえます。本学の教育理念である「誠意・勤労・見識・気魄」、そして建学の精神である「国を思い、世のため、人のために尽くす人材、すなわち国士の養成」とは、正しく日本人の心の奥底に脈々と流れる精神文化を国士舘生が継承していることを意味し、皆さんが学んだ防災教育もその一例なのです。

国士舘精神を体現する皆さんと母校国士舘大学との〝絆〟は永遠に続きます。本学の発展の一翼を担い、成長を遂げた皆さんといつの日か再会を果たし、本学そして世界と日本の将来について話し合える日を楽しみにしています。

知識を知恵に変え強みに

祝辞
大澤英雄理事長

ご卒業おめでとうございます。まずは、卒業生を支えてこられたご家族の皆さまに対し、お祝いの言葉とともに大切なお子様を本学に託していただいたことにあらためてお礼申し上げます。

皆さんが青春の一時期を過ごした日々は、貴重な体験としてそれぞれの人生に位置付けられるものと思います。中でも新型コロナウイルスの出現は、私たちがこれまで当たり前だと思うばかりに意識さえしてこなかったことに気付き、感謝し、考え、工夫する日々をもたらしました。キャンパスでの友人や教員との交流にも大きな制限が生じました。皆さんには、コロナ禍で生じた多くの事柄を教訓として後世に伝えてほしいと思います。

さて、皆さんが進む道は決して容易なものではありませんが、自分を見失うことなく、現実を見据え、夢をもって切り開かなくてはなりません。これから実社会で問われるのは「何ができるのか」です。学んだ知識を知恵に変え、自らの強みを発揮するための柔軟な思考を手段として活用していくのです。皆さんは社会において新人ですから失敗を恐れることはありません。失敗や挫折には学びのチャンスや成功のヒントが詰まっています。

もう一つお伝えしたいことがあります。社会的動物である人間は、他者との関係の中で生かされ、育まれます。他者への感謝とともに献身的な行為により「誰かを支えた」「誰かの役に立った」という喜びで満たされます。その気持ちこそが、国士舘精神の原点です。いかなるときも「人の幸せを自らの幸せとして生きること」「人を思いやる心」を忘れないでください。

皆さんが日本の未来を切り開いていく気魄と勇気を持って歩まれることを心から願ってはなむけの言葉といたします。

優秀修士論文賞・優等賞・柴田徳次郎賞受賞者

（カッコ内は出身校）

《優秀修士論文賞》

●政治学研究科
葛恬
●経済学研究科
ゴ俊宏
●経営学研究科
謝思羽
●スポーツ・システム研究科
福永将司
●救急システム研究科
車田祐介
●工学研究科
三間和樹
●総合知的財産法学研究科
川上春花
●人文科学研究科
烏達巴拉
●グローバルアジア研究科
田端和菜

《優等賞》

●政経学部
◇政治行政学科
湊智哉（千葉県立国府台高等学校）
土屋良樹（私立さくら国際高等学校）
五十嵐郁弥（私立駒澤大学高等学校）
◇経済学科
佃有人（東京都立昭和高等学校）
俵積田かおり（川口市立川口総合高等学校）
水野佑太（私立錦城高等学校）
小林祐太（千葉県立柏の葉高等学校）
越田裕介（私立正智深谷高等学校）
石岡優（東京都立永山高等学校）
●体育学部
◇体育学科
和田菜緒（千葉県立柏の葉高等学校）
洞地沙紀（東京都立日野台高等学校）
山西玲（富山県立魚津高等学校）
鈴木大貴（私立翔洋学園高等学校）
◇武道学科
鹿野叶和（東京都立上野高等学校）
荒井美佳子（富山県立富山北部高等学校）
◇スポーツ医科学科
福永雅子（私立鹿児島実業高等学校）
菅原治晃（私立ノースアジア大学明桜高等学校）
八島優太（千葉県立幕張総合高等学校）
◇こどもスポーツ教育学科
中嶋彩葉（群馬県立高崎女子高等学校）
●理工学部
◇機械工学系
古橋隼（東京都立青梅総合高等学校）
◇電子情報学系
清水隆志（東京都立東高等学校）
◇建築学系
勝俣佳奈（山梨県立吉田高等学校）
◇まちづくり学系
粂田航太郎（私立桐朋高等学校）
◇健康医工学系
岩井香菜美（千葉県立八千代高等学校）
◇基礎理学系
武部真亜人（東京都立世田谷総合高等学校）
●法学部
◇法律学科
出井ちなつ（長野県諏訪二葉高等学校）
海谷弘樹（神奈川県立秦野高等学校）
中村太一（東京都立紅葉川高等学校）
◇現代ビジネス法学科
中田知里（富山県立福岡高等学校）
荒屋梨子（さいたま市立浦和南高等学校）
藤下遥香（千葉県立四街道高等学校）
●文学部
◇教育学科（教育学専攻）
宇田川楓花（私立志学館高等部）
◇同（倫理学専攻）
小鮒遥（高崎市立高崎経済大学附属高等学校）
◇同（初等教育専攻）
温泉川颯（埼玉県立春日部東高等学校）
◇史学地理学科（考古・日本史学専攻）
吉田圭汰（埼玉県立本庄高等学校）
◇同（東洋史学専攻）
松田康太郎（私立宇部フロンティア大学付属香川高等学校）
◇同（地理・環境専攻）
藤代拓真（東京都立日野台高等学校）
◇文学科（中国語・中国文学専攻）
小池州太朗（国立筑波大学附属坂戸高等学校）
◇同（日本文学・文化専攻）
田上梨奈（私立大宮開成高等学校）
●21世紀アジア学部
◇21世紀アジア学科
橋詰壮太（長崎県立国見高等学校）
大西彩未（埼玉県立所沢中央高等学校）
小沼レオン（東京都立深沢高等学校）
壷谷貴大（私立自由ヶ丘学園高等学校）
劒持美月（私立旭丘高等学校）
●経営学部
◇経営学科
岡田朋恵（さいたま市立浦和高等学校）
永田陽丈（国立愛媛大学附属高等学校）
西田桃子（埼玉県立上尾南高等学校）
水野佑香（岐阜県立恵那高等学校）
中沼美幸（東京都立江戸川高等学校）

《柴田徳次郎賞》※

●大学院経済学研究科
岡田理恵子
●政経学部
俵積田かおり（川口市立川口総合高等学校）
●体育学部
阿部敏弥（私立帝京高等学校）
●理工学部
鹿倉優希（私立東京高等学校）
●法学部
横山日子（私立国士舘高等学校）
●文学部
武部水音（私立あずさ第一高等学校）
●21世紀アジア学部
伊藤貴史（千葉県立磯辺高等学校）
●経営学部
田中晃（千葉県立千葉高等学校）

※柴田徳次郎賞

創立者・柴田徳次郎の国士舘創設の趣旨および建学の精神を永久に堅持し、昂揚（こうよう）する目的をもって、柴田徳次郎賞基金を創設し、この目的達成に抜群の成果をあげた本学学生に対し、授与するものです。本基金は柴田家ならびに趣旨に賛同された実業家の故白川好古氏の寄付により成り立っています。

中高でも卒業式

「感謝の心を活力に」

国士舘高等学校・中学校の卒業式が3月8日、世田谷キャンパス10号館多目的フロアで挙行され、高等学校（全日制課程）323人、中学校32人の生徒が卒業を迎えた。

答辞を読む藤原さん

式では一人一人が登壇し岩渕公一校長から卒業証書を受け取った。祝辞で岩渕校長は「3年次は休校や行事の中止、部活動の制限など思うような学校生活を送ることができない中、くじけずに進んでくれた。皆さんが選んだ道には困難が待ち受けているかもしれないが、感謝の心は未来への活力になる。親や先生、友人からの恩を忘れず、一歩ずつ明るく素直に歩んでほしい」とはなむけの言葉を贈った。

卒業生代表答辞では高等学校の藤原志帆さんが3月で廃部となったパワーリフティング部での活動を振り返り「前例のない女子の入部を認め、つらいときにも熱く指導してくださったおかげで、全日本優勝、世界大会出場など国士舘に名を刻むことができた。国士舘での経験を糧にこれからの人生を生きていく」と、指導者への感謝と卒業後の抱負を述べた。

新型コロナウイルス感染予防のため卒業生一人につき保護者1人の参加とした。また、例年参列している在校生は式後に校舎入口で出迎え、お世話になった卒業生を見つけるとお礼の言葉を添えて花束やプレゼントを手渡した。

同6日には高等学校昼間定時制課程の卒業式も挙行された。本年度の高等学校卒業生は合計354人だった。

入学時の決意　公開中です

「夢をあきらめない」で

ご卒業おめでとうございます。4年前の入学式では「夢をあきらめないカード」を配付し、これから始まる大学生活に向けたメッセージをいただきました。現在、本学ホームページで4年前のメッセージを公開しています。

これからも夢をあきらめない気持ちを大切にして大きく飛躍されることを祈っています。

↓

優秀卒業生を表彰

2学会1学部で論文、学業を評価

本学政経学会と21世紀アジア学会では3月、卒業生を対象に優秀論文を表彰し、学生の努力の成果をたたえた。また法学部では、4年間を通じ優秀な成績を修めた学生に対し中村宗雄賞を授与した。表彰者は以下の通り。

列席者全員で記念撮影（政経学会学生優秀論文コンクール表彰式）

《第36回学生優秀論文コンクール／政経学会》

●最優秀賞
◇経済学科
小林祐太、長島賢一
●優秀賞
◇政治行政学科
矢島佑樹
◇経済学科
川口晟矢、俵積田かおり、水野佑太、三橋晃太
●佳作
◇政治行政学科
五十嵐海斗、井川達貴、新田強
◇経済学科
齋藤優樹
●努力賞
◇経済学科
永井聖也

《中村宗雄賞／法学部》

◇法律学科
佐藤旭、富澤夏樹、數納実菜子、海野凌河、田中悠都
◇現代ビジネス法学科
井上大介、小坂梨花、加藤岳樹、松原真衣、山西由也

《21世紀アジア学会賞／21世紀アジア学会》

●最優秀賞
◇大学院グローバルアジア研究科
横山千明
◇21世紀アジア学科
石渡真衣
●優秀賞
◇21世紀アジア学科
河野祐輝、武田慎ノ介、菊池陸、三科美空
●奨励賞
◇21世紀アジア学科
毛利友也、瀬川織輝、藤田夏帆、秦雨トウ、王琳

クラブ功労者に感謝状

〝永年監督〟3氏が退職

3月12日、同一クラブで10年以上指導にあたり、令和2年度で退職の教職員3人に対し、佐藤圭一学長から感謝状が贈られた。

感謝状が贈呈されたのは、国士舘大学混声合唱団で18年間指導した志澤彰監督（文学部准教授）、弓道部で22年間指導した河西雅末監督（職員）、錬心舘空手道部「少林寺流空手道」で42年間指導した美納淳一監督（職員）の3人。

3人には、感謝状のほかにクラブ・サークル活動を管轄する学生・厚生課から、それぞれ指導者着任時に発行された『クラブ・サークルガイド』のクラブ紹介ページと花束が贈られた。

長年の労　〝花道〟で送る

定年退職者を送別

令和2年度の「定年退職者を送る会」が3月25日、世田谷キャンパスの国士舘大講堂で行われ、3月に定年退職の教職員13人が出席した。送る会には、大澤英雄理事長、佐藤圭一学長、岩渕公一校長ら役職者や教職員が列席し、退職者の長年の労をねぎらった。

感謝状および記念品贈呈では、大澤理事長が退職者一人一人に感謝状を手渡した。続く理事長あいさつの後、退職する教員を代表して法学部の飯田昭夫教授が、職員を代表して福本正幸法人事務局長がそれぞれあいさつした。

その後、職員からの花束贈呈、佐藤学長による閉会のあいさつ、舘歌斉唱と続き、閉会した。退場の際には列席者が花道をつくって送り出した。

《退職者》

3月31日付の定年などによる退職者は次の通り。（敬称略）

【大学教員】

長谷川三雄（政経学部教授）、木原英逸（政経学部教授）、池田延行（体育学部教授）、片山等（法学部教授、元キャリア形成支援センター長）、飯田昭夫（法学部教授、副学長、国士舘史資料室長、同学校法人国士舘理事、同評議員、元大学院総合知的財産法学研究科長など）、志澤彰（文学部准教授）、ジンベルグ・ヤコブ（21世紀アジア学部教授）、永井喜則（経営学部教授）、桜井徹（経営学部教授）、中野常男（経営学部教授）、濱中修（文学部教授）、小森富士登（武道・徳育研究所准教授）

【中高教諭】

岩渕公一（高等学校・中学校校長、校長職は継続）、大貝久吉（高等学校定時制）、秋元正光（高等学校全日制）、中谷幸市（高等学校全日制）

【職員】

福本正幸（法人事務局長など）、山本政江（町田校舎事務課）、河西雅末（教務部教務課）、石井功（教務部授業支援課）、福原一成（教務部統合学部事務課長など）、美納淳一（学生部事務部長など）、伊井克己（21世紀アジア学部事務課）、齋藤京古（町田校舎事務課）、鈴木輝一（学長室FD推進課長）、前田利之（イラク古代文化研究所事務長など）

新４年生の皆様へ
国士舘大学同窓会入会のご案内

2021年3月下旬に「同窓会入会のご案内」をお送りしました。
皆様のご入会をお待ちしています。

国士舘大学同窓会は、昭和49年の設立以来、会員の親睦互助を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的に活動してまいりました。会員数は現在約140,000人。全国に52支部を設立し、会員相互の連携・交流事業を通して絆を深めています。学園祭・就職支援など在学生会員をサポートしています。
卒業後も母校国士舘の同窓生として、後輩たちの道しるべに…

＜母校、在学生に対する諸事業＞
□入会者への「会員カード」発行（令和3年度より実施）
□卒業記念品の贈呈
□学園祭、学生諸行事への支援、地方父母懇談会開催時の協力 ほか
□割引率の高い学生総合保険の紹介（学費納入者が万一の場合の学費補償、疾病、傷害、賠償責任が補償されます）
□在学生のための就職支援を行う会員団体への援助（支部就職支援委員会、楓教育会など）
□母校創立110周年記念事業募金の支援（同窓生への協力呼びかけ、行事企画参加など）
□箱根駅伝、各種スポーツへの支援

国士舘大学同窓会
詳しくはホームページをご覧ください。
https://www.kokushikan-dousou.jp/
国士舘大学同窓会本部 Facebook
https://www.facebook.com/kokushikan.dousou
☎ お問い合わせ　同窓会事務局：03-3413-7303